

ショートコメント vol.142 (2019年6月11日)

テーマ：消費増税の悪影響はすでに顕在化か

～企業の間で高まる不安。前回とは意識が大きく異なる～

●足元の駆け込み需要の動き

今年の10月には、消費税率が10%に引き上げられる予定である。引上げまで既に4か月を切っており、企業や消費者の対応に注目が集まっている。

今のところ、増税前の駆け込み需要の動きは限定的であるが、住宅の一部ではある程度確認することができる。住宅のうち、持家の着工状況をみると、昨年8月以降は前年比でプラスが続いている(図表1)。徐々に増勢は拡大しており、直近の3か月は2けた増となっている。昨年8月といえば、今年10月の増税の14か月前にあたるが、前回の8%への引上げ時、その前後からちょうど増加が始まっている(図表2)。

この着工の増加も、前回のサイクルでいえば増税の5か月前にはピークアウトする形となった。今回のスケジュールでは5月にあたるため、今後の推移には注意が必要となろう。

●消費増税に対する企業の意識

一方、消費増税に対する企業の意識については、今回は前回と大きく異なるものとなっている。一般的に増税の4~5か月前といえば、ちょうど駆け込み需要が増える局面であり、スポット的には増税が景気にプラスにはたらく。しかし、今回はすでに企業の間でマイナスととらえる傾向がみられる。

内閣府の景気ウォッチャー調査では、毎月の景気判断に加え、それに関連する定性コメントも聴取している。そこで消費増税に言及のあるコメントを抽出し、その景気判断をもとに「消費増税DI」の集計を行った。図表3、4は、全国および関西の「消費増税DI」と、集計に用いた増税関連のコメント数の推移をみたものである。

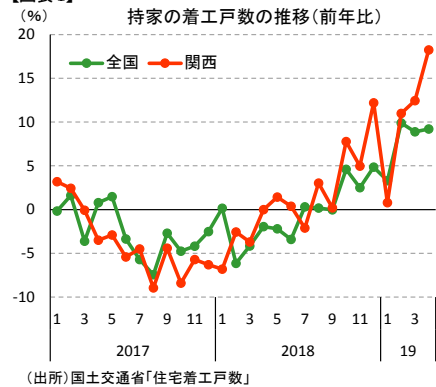
図表に表れているように、前回と今回とでは動きが大きく異なる。消費増税DIは50を上回ると景気にプラスの影響、50を下回るとマイナスの影響を意味するが、今回は3か月前の2月調査からすでに50を下回っている。前回の好調な動きと比較すると、非常に対照的なトレンドといえよう。

また、今回はそもそも増税関連のコメント数が少ない点も目を引く。全国、関西ともに、足元は前回の半数にも満たない。

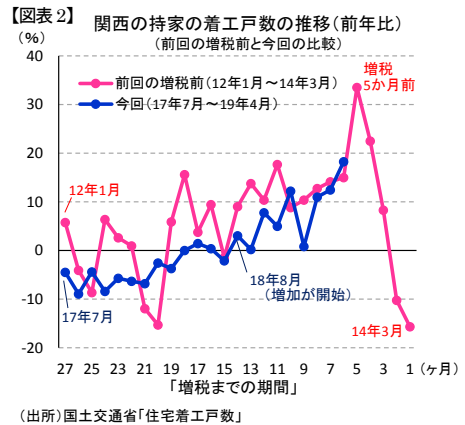
●増税前から悪影響が顕在化か

つまり、今回は増税が始まる前から、景気に対する影響として

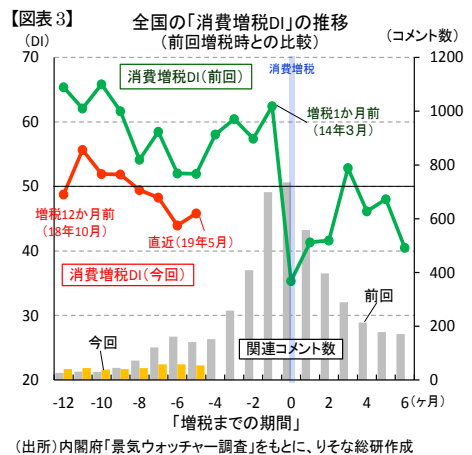
【図表1】



【図表2】



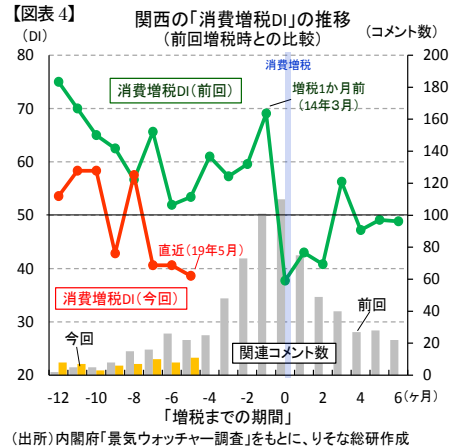
【図表3】



※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

はマイナスの動きが強いことを意味する。その理由としては、増税後の負担軽減策の存在が、駆け込み需要の抑制につながっている点に加え、足元の節約志向の高まりも指摘されている。所得の伸びが決して十分でない中、増税後の景気の落ち込みへの不安などから、全体的に消費を抑える動きが強まっている。

ちょうど景気の鈍化傾向が進みつつある中、各業界での値上げの動きが重なったことで、消費マインドは基本的に良くない。そこに消費増税が加わり、節約志向が強まる結果につながったといえよう。この状況は前回の増税前にはみられなかったものであり、今回の増税による影響への不安にもつながる。



●消費増税による影響の注目点

通常、消費増税が経済に及ぼす影響としては、大きく3つに分けられる。増税前の「①駆け込み需要の発生」、増税後の「②駆け込み需要の反動減」と、「③実質所得の減少に伴う消費の停滞」である。①と②はほぼ相殺されるため、逆にいえば、今回の②は限定的なものにとどまろう。その一方、③についてはすでに企業の間で警戒感が広がっている。増税による実質所得の減少は避けられないため、10月以降は消費が停滞することになる。

注目されるのは停滞の度合いと、停滞する期間の長さであるが、この部分は意見が分かれるところであろう。前回の増税の際は、半年程度で回復するとの見方が少なくなかったが、実際はもっと長く停滞が続いた。今回も、足元の消費の基調の弱さをみる限り、楽観視は危険とみられる。

本件照会先: 大阪本社 荒木秀之
TEL:070-6633-0038 mail:hd-araki@rri.co.jp

※本稿は情報提供が目的であり、商品取引を勧誘するものではありません。また、本稿は当社が信頼できると判断した各種データに基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。なお、本稿に記載された内容は執筆時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。